2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	N41901	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 総合レベル 卒研
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	N190108	クラス名	原田研究室
担当教員名	原田　敦史		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究着手にはこれまでに取得した単位数の条件(下限値)があります。その条件を満たさない場合はこの授業を履修することはできません。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	テーマに合わせて指示します.		
関連科目	これまでの科目すべて		

○授業の目的・概要等

授業の目的	航空宇宙工学科の4つのディプロマ・ポリシーに基づき, 4年間の最終的な授業として卒業研究を行います. 社会や地域に貢献するためには、どんな仕事であっても共通した仕事の取り組み方や姿勢があります。これらを研究活動を通して修得してもらいます。	
授業の概要	詳細かつタイムリーに指導教員と研究の方向性や手順を調整し、効率的な研究を行います。 なお、研究に関連したイベントを以下に示します。1)、2)は対応必須です。 1) 中間発表会(学科内) 時期:10月　／対象:全員(全グループ) 2) 最終発表会(学科内) 時期:2月上旬／対象:全員(全グループ) 3) 合同発表会(全学) 時期:2月下旬／対象:各学科最終発表会での最優秀者(最優秀グループ)	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準(合計100点)

到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分で選んだ研究テーマなので、自主的に情報収集などを進める意欲を持つ			10点
【知識・理解】	研究を進めるために科学的思考、論理的思考を使うことができる		10点	10点
【技能・表現・ コミュニケーション】	研究のパートナーとうまくコミュニケーションをとり、研究を効率よく進めることができる		20点	20点
【思考・判断・創造】	実験等から得られた結果を用いて、新しい知見を見つけ出すことができる		20点	10点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

提出された論文を以下の観点で絶対評価します。
1)事前に提示した論文構成にのっとっているか
2)文章表現も含め、研究内容をわかりやすく説明しているか
3)研究内容が卒業研究として水準に達しているか研究の進捗報告を毎週行ってもらいますので、内容をわかりやすく伝わるよう努力しているかどうかを常にチェックしています。

○備考欄

以下の項目は必ず成績評価対象となります。
1) 研究室毎に決めたミーティングへの出席
2) 中間発表会への参加
3) 最終発表会への参加
4) 卒業研究の報告書

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:N190108
担当教員: 原田　敦史

学修内容

1. ガイダンス
研究生同士の自己紹介、研究の候補テーマの説明をし、各自のテーマを決定します

予習: シラバスを熟読すること（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

2. 各テーマの遂行
研究テーマ毎に初期の情報収集をします

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

3. 各テーマの遂行
研究テーマ毎に初期の情報収集をします

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

4. 各テーマの遂行
収集した初期の情報から、目指す目標を設定し、計画を立てます。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

5. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

6. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

7. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

8. 中間発表会に参加する
これまでの研究経過を報告します。

予習: 中間発表会の準備（約2.0h）
復習: 中間発表会で指摘された事項の解決を行う（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:N190108
担当教員: 原田　敦史

学修内容

9. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

10. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

11. 各テーマの遂行
必要に応じ計画の方向修正をします。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

12. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

13. 各テーマの遂行
計画に従って研究を進めます。適宜進捗を確認します。

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

14. 各テーマの遂行
研究結果をまとめ，考察します.

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

15. 報告書の作成
研究成果を論文としてまとめます.

予習: ゼミの準備（約2.0h）
復習: ゼミで見つかった課題解決を行う（約2.0h）

16. 最終報告会
1年間の研究経過を報告します。

予習: 最終発表会の準備
復習: 最終発表会で指摘された事項の解決を行う